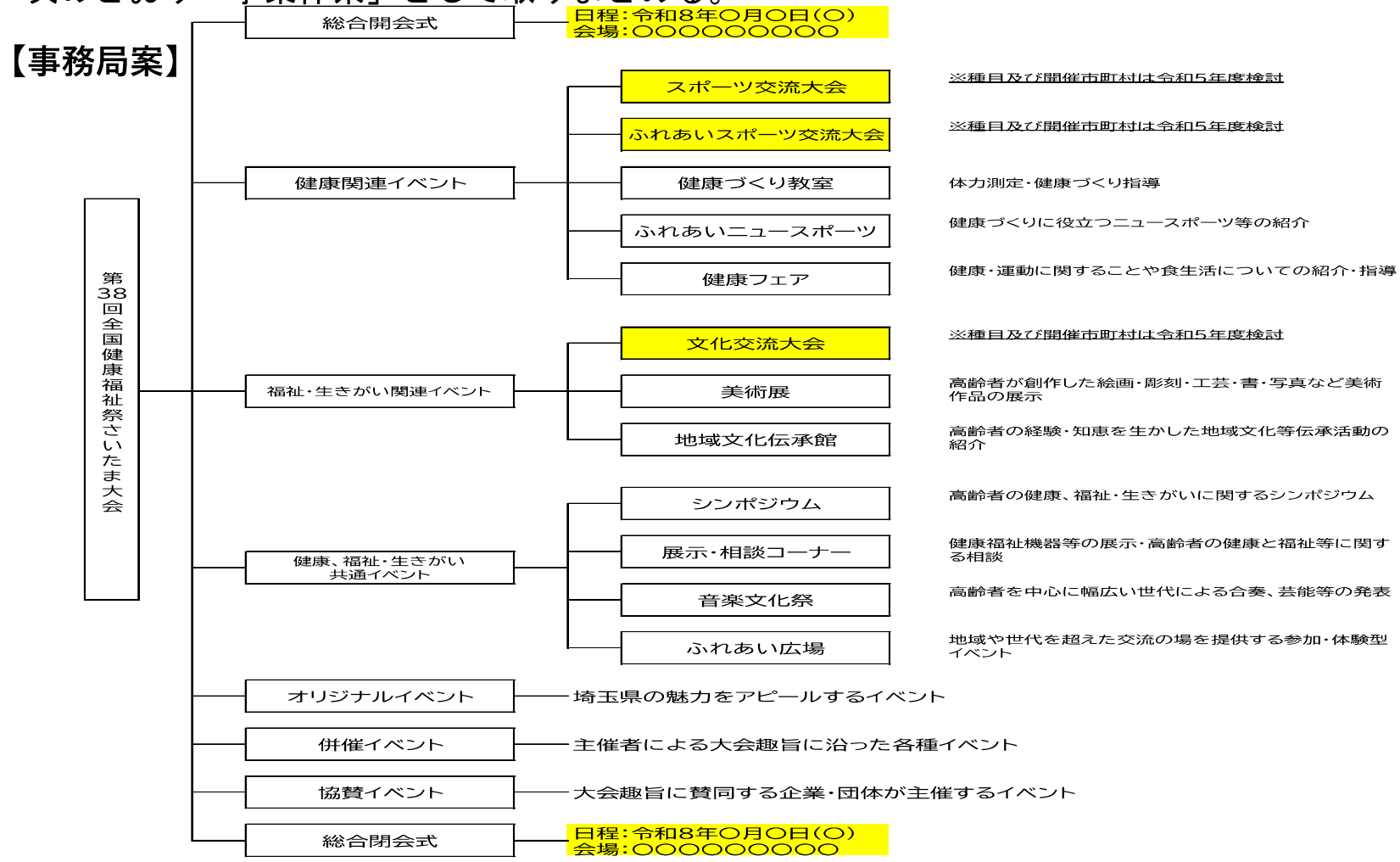


<検討事項 ③ 事業体系>

総合開会式・総合閉会式の日程場所、関連イベント等の大会の実施事業全体を先催県例と同様、次のとおり「事業体系」として取りまとめる。



1 総合開会式・閉会式会場

【事務局案】 会場については、「各県選手団や一般来場者等を収容可能な施設」、「交通の利便性」、「大規模行事等の開催実績」等を考慮して決定

※当該施設の予約状況により再検討の可能性有り

2 交流大会実施種目及び会場地

(1) 実施種目

(種目選定の考え方)

- ・ 高齢者の身体状況に配慮した競技であること。
- ・ 県内に大会運営競技団体等の基盤があり、大会を円滑に運営できること。
- ・ 高齢者に普及しており、全国からの参加が見込まれること。
- ・ 県内の既存施設で実施が可能であること。

(2) 会場地

(会場地市町の考え方)

- ・ 大会運営は会場地市町村（市町村実行委員会）が行うとされていることから、市町村の開催意向を優先すること。
- ・ 実施競技を主管する団体の協力が不可欠であるため、会場地（競技施設）について当該団体の希望を考慮すること。
- ・ 周辺宿泊施設の状況、交通の利便性、移動時間等に留意すること。

【事務局案】 (1) (2) とともに県内市町村及び各競技団体の要望や意見を調整した上で選定

(3) 選定手順

- ・市町村(5/29)・競技団体(5/31)に対して説明会を実施し、その後開催意向調査を実施。
- ・意向調査結果をもとに、ヒアリング及び競技団体との調整を実施。

(4) 交流大会実施競技及び会場地市町村選定フロー（スケジュール）

